

温故知新

日野歴史探訪

私たちの住む日野町には、52の大字があり、それぞれの地域が豊かな自然と歴史文化で彩られています。温故知新では、町内各大字の歴史と代表的な文化財をシリーズで紹介していきます。

大字山本

必佐地区の北東端に位置する大字山本は、中世の荘園「山本保」があった地とされ、江戸時代には本多氏領、尾張藩領を経て、現在に至っています。地域南端には日野川支流の出雲川が流れ、北へ向かって丘陵が広がります。なだらかに広がる土地をいかし、昭和には新興住宅地の開発が行われました。

地区の名の由来は、区域にある月岡山の本に位置するためとされています。隣村である大字大谷出身の近世画家「月岡雪隠」の名も、大字山本の月岡山が由来となっています。大字石原と隣接する北端の字「焼山」では、縄文時代の狩猟用石器や土器が発見された「焼山遺跡」があり、古くからこの地が人の活動の舞台になってきたことがわかります。

新田の開発

江戸時代に盛んに行われた新田の開発は、日野町域でも4つの村で大規模に行われました。その先駆けは、天和2(1682)年の山本新田で、続けて承応3(1654)年に中山徳谷、元禄年間(1688~1704)に鳥居新田、弘化3(1846)年に上駒月新田の開発が行われました。

山本村で正徳2(1712)年に作成された「江州蒲生郡山本村指出し帳」には尾林九郎右衛門という人物が開発を願いつたことが記されています。字「月岡山」の西南隅付近には「尾林九郎右衛門塚」が建てられており、発起人の面影を今に伝えています。山本村では、多数の資料から新田開発による村の変化を読み取ることができ、新田の面積は合わせて108町8反におよび、その内9町1反を占める畑を中心とした開発でした。

その歴史は、戦前にさかのぼり、昭和16(1941)年に前身となる滋賀県種畜場が野洲から大字山本へと移転しました。その後、次第に戦火が広がるにつれ、兵舎や広大な土地を利用した訓練の場所として、兵員収容の施設へと転用されました。

戦後には本来の施設運用へと戻り、改称を繰り返しながら現在の名称となりました。畜産の活性化に貢献しているだけでなく、ウシやニワトリ、ポニー、ヤギ、ヒツジといった動物たちと出会うことのできる場として、多くの人々に親しまれています。

元禄13(1700)年に、村民の手によって作成された「新田名寄帳」は、総石高が60石あることや、開発地が野郷、梅木塚、中ノ澤、焼山、扣山などの小字に広がることを記されており、先人の苦労がしのべれます。

【尾林九郎右衛門塚】



滋賀県畜産技術振興センター

大字山本の焼山にある滋賀県畜産技術振興センターでは、家畜試験研究施設として畜産農家に関わる技術開発と普及・指導が行われています。

【滋賀県畜産技術振興センター】



◆問い合わせ先

近江日野商人ふるさと館「旧山中正吉邸」

☎0748-521-0008



みんなのとしょかん



本の紹介

『シティ・カスタマイズ
自分仕様に「まち」を変えよう』
饗庭伸ほか／著 晶文社

あなたのまちに、ちょっとした「余地」はありませんか。この本は、そういった「余地」を見つかることから、DIYでカスタマイズして、活用する方法を教えてくださいの一冊です。



行事予定

- | | |
|--|--|
| <p>「おはなし会」
4月1日(土)、8日(土)、
22日(土)
10:30～(15分程度)</p> <p>「おひざでだっこのおはなし会」
4月15日(土)
11:15～(20分程度)
3歳くらいまでの親子を対象に絵本や手遊び、わらべうたなどをしています。
※行事・サービスは中止する場合があります。</p> | <p>「託児サービス」
4月12日(水)、19日(水)
10:00～12:00
対象:0歳から3歳</p> <p>「えいが会」
4月16日(日) 14:00～
『ぶあいそうな手紙』
2019年／ブラジル
(123分)</p> |
|--|--|

図書館からのお知らせ

○返却ポストをご利用ください

図書館が閉館しているときは、玄関横の返却ポストに本を返すことができます。向かって左側の幅の広い口が本や雑誌、向かって右側の幅の狭い口がCDやDVDの返却口です。ケースの破損を防ぐため、返却口を間違えないようご注意ください。

※ポストに返せない資料

- ・他の図書館から取り寄せた資料
- ・緑色の貸出袋に入っていないCD・DVD

4月						
月	火	水	木	金	土	日
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

5月						
月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- …休館日 ○…えいが会 ◇…託児サービス
■…おはなし会 □…おひざでだっこのおはなし会

日野町立図書館

☎0748-53-1644 FAX 0748-53-3068

図書館の本は、お近くの公民館でも返却していただけます

青雲之志

～町長コラム～

日野町長 堀江 和博

新年度が始まりました

令和5年度になりました。日野町議会3月定例会では、令和4年度補正予算ならびに令和5年度当初予算についてご承認をいただきました。今回の補正予算・当初予算のポイントには「1子育て支援」「2コロナ対策」「3プロジェクトを育てる」の3点です。

「1子育て支援」については、国による子ども家庭庁の発足や県予算でも子ども施策が重要視される中、当町においても子育て支援施策を大きく拡充していきます。高校生等の入院時の医療費無償化、小中学校生のフリースクール利用助成、学卒後に町内に居住し就職する者への奨学金返還支援、保育士・幼稚園教諭の処遇改善、出産子育て伴走支援や給付金支給、必佐学童保育所の増設などを実施します。

「2コロナ対策」としては、国

による臨時交付金はありませんが町単独による予算措置により引き続きの支援を行います。「日野町がんばろうクーポン券」による商業支援・生活支援、農業経営収入保険への助成、小中学校の学習支援員の配置などを行います。一年を通じてその他支援策を検討してまいります。

「3プロジェクトを育てる」については、令和4年度に着手した多くのプロジェクトを育てる一年にしたいと考えています。公共交通を再編する「わたむき自動車プロジェクト」、日野の誇るべき文化を守る「文化財保存活用地域計画」、脱炭素化など環境施策を進める「環境基本計画」、今後の子育て環境を考える「幼児教育保育の在り方検討」や日野町の魅力発信のため「ふるさと納税」や「近江日野商人サミット」などに引き続き取り組みます。

第6次日野町総合計画の3年目として、コロナ禍や人口減少など時代の変化に対応し、先人の思いをしっかりと受け継ぎ、持続可能な日野町をめざして誠心誠意取り組みます。令和5年度もご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。